



受付日：平成27年7月1日
受付番号：HP15-KT078

接合部性能試験成績証

試験結果は以下のとおりであることを証明する。
平成27年7月31日

東京都港区芝5-3-17
徳栄ビル本館4階
ハウスプラス確認検査株式会社
代表取締役社長 川股孝志
印査

1. 接合金物名称	梁受け金物 HN406
2. 試験依頼者	株式会社 カナイ 〒340-0833 埼玉県八潮市西袋717-1
3. 目的	① 枠組壁工法建築物の接合部の「基準許容応力」及び「基準終局耐力」を試験により評価する。 ② 「基準許容応力」から「降伏耐力」を算出し、「基準終局耐力」との比較結果より、「短期許容耐力」及び「長期許容耐力(250年相当・50年相当)」を確認する。
4. 試験内容	梁端部仕口接合部(梁-梁型)のせん断試験 なお、準拠する試験方法はハウスプラス確認検査株式会社制定「木造建築構造試験事業における接合部性能試験業務方法書(平成21年4月1日制定)」による。 評価方法は2007年枠組壁工法建築物構造計算指針による。
5. 試験体仕様	1) 接合金物 「梁受け金物 HN406」1個×2箇所 材 質：SGHC Z27(JIS G 3302) 寸 法：176.6mm×137.3mm×52.3mm(外形) t=2.3mm 接合具用孔 16-φ3.5mm 2) 接合具 加力梁側：「太めくぎ ZN65」4本×2箇所 材 質：SWM-N(JIS G 3532) 寸 法：φ3.33mm L=63.5mm 頭部径φ7.14mm 支持梁側：「太めくぎ ZN65」12本×2箇所 材 質：SWM-N(JIS G 3532) 寸 法：φ3.33mm L=63.5mm 頭部径φ7.14mm 3) 軸組材料 加力梁：89mm×140mm×824mm スプルー ス 同一等級構造用集成材 E120-F330 含水率：14.0~15.0% 全乾密度：0.42~0.46g/cm ³ 支持梁(右)：38mm×140mm×900mm S-P-F 甲種2級 2枚 含水率：15.0~19.0% 全乾密度：0.38~0.44g/cm ³ 支持梁(左)：38mm×140mm×900mm S-P-F 甲種2級 2枚 含水率：16.0~18.5% 全乾密度：0.39~0.44g/cm ³
6. 試験条件等	試験体は接合部を実状に合わせた仕様としている。 支持梁の固定方法は、鋼製スペーサーによる2点支持とし、支持間隔を300mmとした。また、側面を加力梁芯から両端側にそれぞれ375mmの位置で「M16ボルト(強度区分4.6)」、「M16六角ナット(強度区分4)」及び「100mm×100mm×15mmの角座金」を用いて固定用治具に30N・mのトルクで緊結した。 試験結果は接合部1箇所あたりの数値を示す。
7. 試験結果	基準許容応力 5.77 kN、基準終局耐力 15.45 kN、短期許容耐力 8.65 kN (詳細及び長期許容耐力については接合部性能試験報告書に示す)
8. 試験場所	ハウスプラス確認検査株式会社 横浜試験研究センター第二試験場：神奈川県横浜市鶴見区矢向1-1-1 10番
9. 試験実施日	平成27年7月8日
10. 試験実施担当者	ハウスプラス確認検査株式会社 評定部 家納 吾郎 道場 信義 千葉 博 加川 啓介

この接合部性能試験成績証を転載するときは、必ず全文を記載してください。